知る、考える、進めるために。
除染情報プラザ 福島県 環境省

福島再生 REPORT 94

平成27年10月29日

福島の除染活動状況をお伝えします。

桑折町

除染に取り組む作業員の皆さんへ感謝と応援の気持ちを伝えるサンクスヘルメット。

記念撮影する児童、作業員の皆さん。右端はスペシャルゲストの井上さん。

多くの来場者に福島再生に向けたメッセージを書いていただきました。

児童たちの感謝の気持ちが込められたメッセージ付きヘルメット。

除染作業に取り組む作業員の皆さんに感謝と応援の気持ちを伝える、ＯＮＥふくしま「サンクスヘルメット贈呈式Ｗｉｔｈ井上苑子（そのこ）ＬＩＶＥ」が１０月１２日、桑折町のふれあい公園で行われました。

この贈呈式は昨年の郡山市、今年８月の福島市での開催に引き続き、「福島の再生を目指して」という想いのもと県内のマスコミ８社が参加する「ＯＮＥふくしま」が主催しました。

今回は桑折町立半田醸芳小学校の緑の少年団の児童から６０通の感謝と応援のメッセージが寄せられました。「毎日除染作業をしてくれてありがとう」「私も福島のためにがんばります！ありがとう！」「みんなの力で福島の笑顔を倍にしよう！」など、作業員の皆さんへの温かいメッセージです。

贈呈式は、桑折町制施行６０周年記念事業「こおり満福まつり２０１５」の特設ステージで行われました。髙橋宣博（のぶひろ）町長は「子どもたちや若者が安心して暮らすためには、作業員の皆さんの力がなくてはならなかった。感謝しています」とあいさつしました。続いて、緑の少年団の代表５名より除染作業員の皆さんにメッセージを貼ったヘルメットを手渡しました。

斎藤巧斗（たくと）君は「地域をきれいにしてほしいと願って書きました。これからも頑張ってください」、佐藤亜耶（あや）さんは「このヘルメットをかぶってかんばるぞ、と思ってもらえたらうれしいです」と述べました。ヘルメットを受け取った熊本祐司さんは「感謝の言葉をいただき励みになりました。子どもたちに安心と安全を残すのは大人の責任です。これから続く作業に全力を尽くします」と御礼の言葉を述べました。

スペシャルゲストとして歌手の井上苑子さんがライブを行い、福島への応援ソングを披露しました。井上さんは「両親が阪神大震災を体験したので、福島のことは他人事ではありません。皆さんのメッセージが心に響きました。皆さんの元気と笑顔がたくさん見られますように」とエールを送りました。この後、井上さんは除染が行われている半田山自然公園を訪れ、現地で除染作業に取り組む作業員の皆さんにメッセージを手渡し、歌をプレゼントしました。

ふれあい公園には除染情報プラザのブースも出展され、髙橋町長や井上さんをはじめ、多くの来場者が福島再生に向けたメッセージを寄せました。

環境省は、福島県民の皆様のご理解とご協力の下、各自治体と連携して除染を進め、再生と復興に向けた地域の取組を後押ししていきます。